



介護体験を

聞く会

第185回 介護体験を聞く会

平成29年5月27日(土)に開催

議題

- ①音楽ホール三々五々館開設記念会の感想と今後の使い方について
- ②グループホーム入居4ヶ月の87才の方の検討
- ③介護体験を聞く会
- ④28年度の会計報告

*出席者(職員)・・院長、柳田、柏倉、飯田、佐和田、三浦、小野瀬、吉田、太田、漆原、高橋、田淵

出席者(家族)・・森山様、野々目様、柳澤様、岸本様、長島様(2名)、藤田様、小幡様、森下様

① 音楽ホール三々五々館開設記念会の感想と今

後の使い方について

*院長・・だいたい70名の方が参加して頂きました。いらつしやった方は音楽ホールというところで、音楽を中心とした交流をされていく。認知症の方や子供とか地域の関心のある方はどなたでも利用ができる。目的は、ニュースにも書いておりますが、やはりこれから老人福祉村づくりと私は言っておりますが、老後になっても安心だ。年寄りを大事にする地域や社会なりにならないと今の世界的な動きからするとやはりそういうことを作っていきましようという提案のもとにしています。いろんな使い方はありますが、音楽を中心としてやり方を皆さんから出していただきます。各部署でしている音楽とかレクリエーションとかそういうものを中心にここでも広げていく。皆さんの方で意見をお出しください。

ホームページ
http://www.yanagida-kaigo.co.jp/

会報第185号

平成29年6月15日発行
発行所・・(有)明寿会
住所・・川崎区中島1-13-3
電話044-2333-0061
*定例会は最終土曜日です。
今月は6月24日(土)です。

ンとかそういうものを中心にここでも広げていく。皆さんの方で意見をお出しください。

野々目様；私はこうゆうのは初めてだったので、結構皆さんと一緒に歌を歌ったりしてすごく楽しかった。昔の歌も歌って素晴らしいなと思って。小幡様・・音楽というのは感動を呼ぶもので、本田さん(音楽療法士)の方がテクニクで皆さん自然な声が出ていました。手を使って拍子をとったり、打楽器簡単なものでもカステネットや皆さんで簡単な演奏ができた。いいのかなと思いましたが。

*事例検討
検討の目的 グループホームに入居して4ヶ月の男性の方の検討

氏名 kさん(男性)・・生

年月日 昭和5年(86歳)
介護度 要介護3
利用開始日 平成29年1月8日
グループホーム旭町ショートステイ開始 平成29年1月15日
グループホーム旭町入居

出身地 川崎区大島 趣味 テレビ鑑賞、野球観戦 性格 几帳面、短気
主介護者 長女
既往歴 平成14年(71歳) 転倒時脳挫傷
平成19年(76歳) 自転車の転倒により左大退骨骨折ボルト入れの為に手術、入院は40日間くらい
平成25年頃(82歳) 認知症の症状が見られ、その後アルツハイマー型認知症と診断される
平成27年(84歳) 左腕の動脈硬化で手術

*現在の内服薬 シロスタゾール錠50mg 血液が固まるのを防ぐ薬
バイアスピリン錠100mg 血の流れを良くする薬
抑肝散加陳皮半(神経のぶりをおさえ、心と体の状態をよくする漢方

(薬) 六君子湯(胃腸の働きを良くして食欲不振を改善する漢方薬) 安中散(胃の痛み、食欲不振を改善する漢方薬)

*生い立ち
昭和5年 7人兄弟の3番目、長男として生まれる 田島小学校出身
昭和23年 18歳で日本鋼管へ就職 その後20代で結婚
昭和30年 長男誕生
昭和34年長女誕生 昭和47年 奥様と離婚、自分の母親と子供と暮らす 娘が結婚後、娘家族と同居 平成3年 退職
お酒が大好きで、ほぼ毎日飲み屋に通っていた
平成25年 前日に言ったことを忘れたり、同じ物を買うなどの症状が見られ、認知症との診断を受ける その後大師の里(土、日)、聖風苑(月、金)月の半分はショートステイ利用

*現在のADL(日常生活動作)
歩行 杖歩行。長時間は疲れて歩けなくなる。(旭町公園片道は歩ける。往

<p>復は疲れてしまい休み休み歩く。)</p> <p>*排泄 リハビリパンツ使用。時々尿失禁、失便あり。</p> <p>*入浴 衣服の着脱は見守り。入浴時転倒予防の為見守りが必要。</p> <p>*食事 普通食。主食100g ↓ 120g ご飯を残す時は桜でんぶをかけると完食することが増えてきている。</p> <p>*夜間の様子 寝る前に「何をしたいのか分からない」といい、着替えて寝るんですよと声掛けし、布団に入るまで見守りが必要。その後も毎回3、4回自室より出てきて、その後のトイレは2回くらい。(最近は自分で着替えて寝ることができ)</p> <p>*入居からの体重の変化 1月45kg、2月44kg、3月5月43kg</p> <p>*入居から現在までの様子と対応</p> <p>口数少なく物静かな性格に見えますが、自ら思ったことに対しては物事をはつきり言える性格です。以前は毎日のように飲み屋に通っていたとの事。</p>	<p>また、タバコは日に4本程度吸っていました。ホームに入居後は禁煙しています。入居当初は「帰ります」「泊まるんですか」と聞かれる事がありました。日々ホームの生活をしていく中で帰宅願望が少しずつ減ってきて、なじみが出来ている様子です。入居当初から食事は残す事が多く、エンシユアやメイバランスなどの栄養補助剤で捕食をしていたので、最近では桜でんぶをご飯にかけることで少しずつ食事が増えてきています。本人は特にコーヒーや甘いものが大好きで、病院でも糖分を摂り体重を少しずつ増やしていけたらとの事でした。最近では日中立ち上がる事が多く、居間のカーテンや他の入居者の扉が開いていると気になり、閉めて歩いたり、トイレの往復の回数が多く見られます。本人のホームでの役割としては、食事の時のあいさつ、鉛筆削り、ビール袋たたみなどを行っています。また、プロگرامでは、ジェンガ、ト</p>	<p>ランブ、ボール投げ、風船バレーなどに参加されています。歌はあまり歌いませんが、いつも手や足でリズムは取っています。</p> <p>*家族相談会*</p> <p>院長・グループホームでの課題は？</p> <p>柳田：食べる事が一番ですね。</p> <p>高橋：そうですね</p> <p>柳田：太らないから、喋らないから声を出させようとして</p> <p>岸本さん：私もね行こうとするんですけど、行くと泣くんですよ。</p> <p>柳田：嬉しくて？</p> <p>岸本さん：泣くんですよ。だから私もなんか思いつきだから私もなんか思いつきださせてもあれかな？と思つて、私も今桜本のデイサービスでちよつと仕事をさせて頂いていて、やつぱり自分の親と他人は全く違う。一応そういうのに携わっているもので、なかなか時間ができなくなつていて、行きたいとも思つていて、来れば泣かれると思うし、どうやっぱり足が遠のいてしまう気持ちもあるし、どうなんでしょうかね？</p>	<p>高橋：でもね。もうだいぶ馴染んできたので</p> <p>柳田：もう泣かないと思いますよ。娘さんのことを忘れないようになるべく会いに来てください。</p> <p>岸本さん：うちにいた頃から私のことを娘だとは判らなかつたと思つているようで、女房とか・・・？</p> <p>デイサービスの車から降りると「女房だ！」とへへと言つていた。孫も毎日来ていたけれど分かんなくて、毎日だと駄目みたい。だからいつも「すみません。すみません。」と言われて、他人みたいに、世話するおばさんみたいな感じだった。たまに来る息子のことは覚えていた。</p> <p>柳田：たまに会うと挨拶をしたり、握手をする</p> <p>岸本さん：握手は好きみたいです。</p> <p>柳田：あとはどうしたら声が出るのだろうか？</p> <p>岸本さん：声はね。</p> <p>柳田：「いただきます」は仰つてくれる。</p> <p>高橋：「ごちそうさま」も今日は言つていた。少しずつですが、「うさぎと亀」や日の丸をワンプ</p>	<p>レースを歌っている。</p> <p>「決算報告」</p> <p>平成28年介護体験を聞く会決算報告</p> <p>(平成28年4月1日から29年3月31日)</p> <p>4月の介護体験を聞く会は、三々五々館開設記念会に変更されました。会計報告が5月例会日になります。</p> <p>(会計報告)</p> <p>前年度繰越金100940円</p> <p>今年度会員収入46400円</p> <p>今年度例会会費39440円</p> <p>差し引き残高6960円</p> <p>平成28年度現金残高は100940円+6960円=107900円</p> <p>(1100円カンパで109000円残高)</p> <p>*平成29年2月25日伊勢屋お茶菓子代領収書紛失</p> <p>*郵便振替口座に介護体験を聞く会として75290円貯金</p> <p>手元貯金が109000円+郵便繰越残高75290円となり、合計で18万4290円が介護体</p>
--	---	---	---	--

験を聞く会の残金になる。
(参加者総員拍手で承認)

柳田ダイケア 佐和田

「富士見中学校体育祭見学」

毎年恒例ですが、今年も富士見中学校の体育祭見学に行ってきました。今年5月13日の土曜日に体育祭が行われる予定でしたが、13日は雨であいにくのお天気。翌14日の日曜日に行われました。



高齢者席で応援しました

はダイケア、デイサービ
ス、グループホームの3
部署で見学に行っていた
のですが、今年は日曜日
に延期になったというこ
とでダイケア、デイサー
ビスはお休みで、グルー
プホームだけの見学と
なりました。中学校に到
着するとちようど徒競走
の最中で子供たちの元気
な声が聞こえてきました。

最前列に席を用意してい
ただき、目の前で見学す
ることができました。
「がんばれ、がんばれ」
と声援を送り、女子のダ
ンスでは「よく振り付け
を覚えたね」また、男子
の組み体操では「上半身
裸で若いね」と話し、大
きなピラミッドが出来上
がると「わあ、すごいす
ごい」と声があがり、大
盛り上がりでした。ほん
の1時間ぐらいの見学で
したが、皆さん大変楽し
まれたようで、グループ
ホームに戻ってからも体
育祭の話をしていました。
また、皆さんに昔の運動
会の話の話を聞くと、昔は裸
足で走っていたとか、ご
ざの上にお弁当を広げて
塩おにぎりを食べた話な



若者達の元気に感動

ど聞くことができ、昔の
話を聞く良い機会にもな
りました。来年もまた見
学に行けたらと思います。

グループホーム旭町

漆原

「ホットケーキサンド」

五月三日、この日は一
人のご利用者さんの誕生
日でした。

ご利用者さん全員にこ
のことは秘密でホットケ
ーキサンドのおやつ作りを
行いました。

スタッフは材料や道具
を用意し、利用者さんは
テーブルを拭き、シート
を敷いて、手を洗い手袋



をつけて準備完了です。
まずはスタッフが粉と
水の量を図りボールに入
れ、それを利用者さんが
二人でペアを組み、一人
がボール抑えもう一人が
泡だて器でこねる作業を
しました。この作業を利
用者さん全員で交互に行
いました。ホットケーキ
サンド作りの次の段階に
入ります。

スタッフが生地を焼い
ている間に利用者さんは
2チームに別れ、それぞ
れのケーキ分のフルーツ
を細かく切って、生地が
焼けると、生地に生クリー
ムを塗りその上に細かく
切ったフルーツを乗せ生
地でサンドにしてから、
仕上げるに、上の生地に生
クリームを塗り苺を乗せ

完成です。見事なホット
ケーキサンドができてま
した。
ケーキを切りコーヒー
と一緒に利用者さんのテ
ーブルに並んだところで、
利用者さんの誕生日を告
げ全員でお祝いの歌を歌
い美味しくケーキを頂き
ました。

デイサービス

新井幸二

地域の新たな集いの場 所へ

ゴールデンウィーク初
日。4月29日天気は快
晴。三々五々館の外壁に
掲げた看板が眩しい。天
候に恵まれて良かった。
と受付スタッフは胸を撫
で下ろす。日差し眩しく
風はあったが少し暑いく
らいだ。場内も玄関外の
受付もお客様を迎える準
備で大忙し。受付にお祝
いのお花が届く。
9時30分。受付にお客
様の姿が数名。一旦室内
に戻り再び窓から外の様
子を伺うとお客様が押し



寄せていた。受付が急に忙しくなる。

10時。定刻通り式が始まる。院長先生の挨拶、地元町内会の方々のご祝辞、利用者ご家族様の挨拶を出席者の方々は柔和な表情で耳を傾け頷く。そして、ご来場の皆様全員でリリアンを回して歌った。初めての事で戸惑いの表情をしていた方も歌い出せば楽しそう。グループホーム入居者さんたちによる『犬棒かるた』では、次々と答える利用者さんに「すごいね。」という声も聞こえてきたり笑い声が起きたり。プログラムが進むにつれ会場が益々和やかなムードに。音楽ボランティアの先生方の時間は誰もがみな笑顔で笑い声も最高潮に達した。

式終盤。主任の涙。出席者の温かい眼差し。もらい泣きしている方も。出席者全員が素敵な時間を共有し笑顔満開で式はお開きとなった。今後は『旭町の音楽ホール』として三々五々館のプログラムは地域の皆様に大いに注目される事でしょう。

デイケア 三浦

おこたり諫むる



日本の女性の忍耐と民族の継承力を賞賛している。「夏は来ぬ」の歌詞のなかにおこたり諫むるとの文言がある。これは文章から読むと、怠けないで働きなさいということ。夏は来ぬという歌のなか

に、なぜ私たちの大先輩はこのような文言をいれたのだろうか。日本のむかしの歌には、意味深なものがある。たとえば「うさぎと亀」にしてもうさぎが自分の強さにおぼれてしまい、亀に負けてしまう。一步一步人生を歩みなさいという童謡である。

日本の民族は勤勉であると思う。うさぎではなく、亀のように、一步一步あゆんできた。それも数年、数十年でなく、江戸時代からさらに平安時代にさかのぼるまでも、田を耕し、水をまき、収穫してきた。真夏の暑さ、冬の寒さのなか、百姓と油は絞れば絞るほどといわれ、時代の為政者の過酷な政治のなかでも歩んできた。過酷な農業と家族の中で虐げられて、女性がそれを堪えて乗り越えて民族を維持発展してきたのである。そこには「夏は来ぬ」で歌われているおこたり諫むるといふ精神が流れていたのではなからうか。

